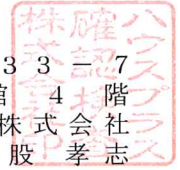


接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 平成28年1月14日

東京都港区芝5-3-37
 徳栄ビル本館4階
 ハウスプラス確認検査株式会社
 代表取締役社長 川股孝志



1. 接合金物名称	TB-244
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	① 枠組壁工法建築物の接合部の「基準許容応力」及び「基準終局耐力」を試験により評価する。 ② 「基準許容応力」から「降伏耐力」を算出し、「基準終局耐力」との比較結果より、「短期許容耐力」を確認する。
4. 試験内容	たて枠と土台接合部の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は2007年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p><u>1) 接合金物</u></p> <p>「TB-244」2枚 材質：NSDC570:ZQNK18*1 寸法：(外形)30mm×244mm 板厚t=0.6mm 接合具用孔 6-φ3.6mm</p> <p><u>2) 接合具</u></p> <p>たて枠側：「太めくぎ ZN-65」3本×2箇所 材質：SWM-N(JIS G 3532) 寸法：φ3.33mm L=63.5mm 頭部径φ7.14mm 表面処理：HDZA(JIS H 8641)</p> <p>土台側：「太めくぎ ZN-65」3本×2箇所 材質：SWM-N(JIS G 3532) 寸法：φ3.33mm L=63.5mm 頭部径φ7.14mm 表面処理：HDZA(JIS H 8641)</p> <p><u>3) 枠組材料</u></p> <p>たて枠：38mm×89mm×800mm S-P-F 枠組壁工法構造用製材 甲種2級 2本 含水率：11.0～13.0% 全乾密度：0.46～0.49g/cm³</p> <p>下枠：38mm×89mm×700mm S-P-F 枠組壁工法構造用製材 甲種2級 含水率：11.5～13.0% 全乾密度：0.43～0.45g/cm³</p> <p>土台：89mm×89mm×1000mm ベイツガ 無等級材 含水率：12.5～13.0% 全乾密度：0.52～0.54g/cm³</p> <p>構造用合板：89mm×700mm 厚さ28mm 構造用合板 JAS特類 2級 含水率：9.5～10.0% 全乾密度：0.50～0.52g/cm³</p> <p>面材合板(上)：350mm×616mm 厚さ12mm 構造用合板 JAS特類 2級 2枚 含水率：7.5～10.0% 全乾密度：0.47～0.54g/cm³</p> <p>面材合板(下)：89mm×700mm 厚さ12mm 構造用合板 JAS特類 2級 含水率：9.5～10.0% 全乾密度：0.46～0.56g/cm³</p> <p>*1 日新鐵合金製</p>
6. 試験条件	試験体は実状に合わせ、たて枠と土台を、合板を介して当該接合金物により接合した。 試験は、実際に適用する壁合板の厚さ0mm～12mmの中で、接合具の埋め込み長さが最小となる仕様で行った。
7. 試験結果	基準許容応力 8.98 kN、基準終局耐力 22.56 kN、短期許容耐力 13.47 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成27年11月26日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 宇山 善博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。